



平成18年度の家畜伝染病検査のお知らせ

家畜保健衛生所では、定期的な家畜伝染病予防法に基づく伝染病の検査を行い、発生やまん延を防止し、また生産段階での発生状況を把握することにより、消費者の安全・安心の確保と、畜産の振興に努めています。

今回は、平成18年度の検査計画についてお知らせしますので、対象となる家畜を飼養されている生産者の方におかれましては、ご理解とご協力をお願いします。

■ 家畜伝染病の種類 () 内は、検査対象

- ・ ブルセラ病(乳用牛)：人獣共通感染症で、牛では流産や繁殖障害を起こす細菌性の疾病。
- ・ 結核病(乳用牛)：人獣共通感染症で、肺に結核病巣を作る細菌性の疾病。
- ・ ヨーネ病(乳用牛)：牛などで、慢性頑固な下痢を特徴とし、大きな損害を与える細菌性疾病。
- ・ 馬伝染性貧血(馬)：馬のウイルス性貧血病。
- ・ ふそ病(みつ峰)：みつ峰の蛆が腐ってしまう細菌性疾病。
- ・ ひな白痢(種鶏)：鶏ひなの白痢を起こす細菌性(サルモネラ)疾病。
- ・ BSEなど伝達性海綿状脳症(牛、めん・山羊)：異常プリオンの摂取によって起こる疾病。

■ 実施する区域・家畜の種類・期日

検査の種類	実施区	家畜の種類	実施期日
ブルセラ病 結核病 ヨーネ病	錦町	乳用牛及びその同居牛	平成18年6月5日から平成18年6月30日まで 平成18年10月2日から平成18年10月27日まで
馬伝染性貧血	あさぎり町	馬	平成18年7月24日から平成18年7月28日まで
ふそ病	錦町 " 球磨村 人吉市	みつ峰	平成18年4月24日から平成18年7月28日まで 平成19年3月12日から平成19年3月16日まで 平成18年5月8日から平成18年5月12日まで 平成18年10月23日から平成18年10月27日まで
ひな白痢	錦町	種鶏	平成18年10月23日から平成18年10月27日まで
BSEなど伝達性海綿状脳症	県内全域	牛、めん・山羊	平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

● 牛異常産ウイルスの動きについて

平成17年度の牛異常産を起こすウイルスの動態調査成績については、先月号でアイノとブルータンゲウイルスの動きを確認した事をお知らせしましたが、これと別にワクチン未接種母牛について年齢別に抗体検査を実施しました。その結果、(近年動きがみられた)アカバネ、アイノウイルス以外が流行した場合、ワクチン未接種では抵抗力がないため若齢牛ほど流産等を起こしやすい状況であることがわかりました。ワクチン接種により、被害をくい止めましょう。

ご不明な点は、城南家畜保健衛生所まで

TEL 0966-22-3814 FAX 0966-22-3617